



◆2月のCP市場動向

2月末のCP市場残高は26兆7,815億円で前月比1兆248億円減少した。前年同月比では4,890億円の増加となった。発行市場は、月末市場残高が前月比では減少しているものの、前年同月比は17ヶ月連続の増加となっている。また、CP発行企業も拡がりを見せており、コロナ禍以前と比べ、引き続き高水準の残高が見込まれる。

業種別残高では、一般事業法人は11兆2,875億円（前月比▲6,535億円）、その他金融は11兆2,530億円（同▲2,901億円）、金融機関は2兆6,887億円（同▲68億円）、ABCPは1兆5,523億円（同▲744億円）とそれぞれ減少した。発行レートは、期内物や発行頻度の低い銘柄等では概ね0%から小幅なプラス圏での出合いが中心となった。一方、発行期間の長い銘柄や発行残高の積み上がりが見られる銘柄では先月に続き発行金利の上昇が見られる展開となった。

【業態別残高内訳】

（単位：億円）

| 業 態 | 2月末残高 | 1月末残高 | 増 減 |
|--------|---------|---------|---------|
| 一般事業法人 | 112,875 | 119,410 | -6,535 |
| その他金融 | 112,530 | 115,431 | -2,901 |
| 金融機関 | 26,887 | 26,955 | -68 |
| 政府系金融 | 300 | 0 | 300 |
| 銀行等 | 3,834 | 3,834 | 0 |
| 証券 | 22,753 | 23,121 | -368 |
| ABCP | 15,523 | 16,267 | -744 |
| 計 | 267,815 | 278,063 | -10,248 |

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

| 格 付 | 1か月 | | 2か月 | | 3か月 | |
|--------------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| a-1+（一般事業法人） | 0.003% | ～ 0.010% | 0.001% | ～ 0.015% | 0.003% | ～ 0.050% |
| a-1（一般事業法人） | — | ～ 0.040% | 0.001% | ～ 0.100% | 0.003% | ～ 0.080% |
| a-1+（リース銘柄） | 0.001% | ～ 0.040% | — | ～ 0.060% | — | ～ — |
| a-1（リース銘柄） | — | ～ 0.025% | — | ～ — | 0.020% | ～ 0.080% |
| a-2 | 0.030% | ～ 0.160% | — | ～ 0.300% | — | ～ 0.450% |

「CP 等買入オペ」

CP 等買入オペは、当初予定通り 2 回の合計 8,000 億円で実施された。8 日オファー分の結果は、応札額 7,065 億円、案分レート 0.003% (平均レート 0.006%)、22 日オファー分は、応札額 6,530 億円、案分レート 0.003% (平均レート 0.015%) となった。
なお、買入オペ残高は 2 月末時点で 2 兆 6,480 億円となっている。

【CP 等買入オペ実績】

(単位：億円)

| 実施日 | 実行日 | オファー金額 | 応札額 | 落札額 | 案分・全取 | 平均落札 | 案分比率 |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 2月8日 | 2月13日 | 4,000 | 7,065 | 3,965 | 0.003% | 0.006% | 90.8% |
| 2月22日 | 2月28日 | 4,000 | 6,530 | 3,980 | 0.003% | 0.015% | 0.8% |

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、2月末時点における発行登録企業数は変わらず547社であった。

「CP現先市場」

現先 (S/N) レートは運用ニーズ変わらず、▲0.05%~0%近辺での出会いとなっていた。

◆3月のCP市場動向

3月のCP発行市場は、決算期末での有利子負債圧縮の動きから、総じて発行が減少すると思われる。また、3月1日時点で3月31日の償還額が約6兆8,000億円となっており、月末の発行残高は20兆円前後で着地することを予想する。一方、発行レートは、今後の日銀新体制による政策変更への思惑から、引き続き上昇余地を探る展開が予想され、発行期間や発行残高・頻度等によりやや幅の広いレンジでの出会いを予想する。

「CP 等買入オペ」

CP等買入オペは、8日と28日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円のオファー予定となっている。CP市場残高は期越え案件の減少により、月末残高が大きく減少すると見込まれるため、ディーラーの買入オペへの応札ニーズが減退し、案分レートは前回比横ばいから低下余地を探る展開を予想する。

「CP 現先市場」

CP 現先レートは、▲0.05%~0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【2月末発行残高 上位 10 社】

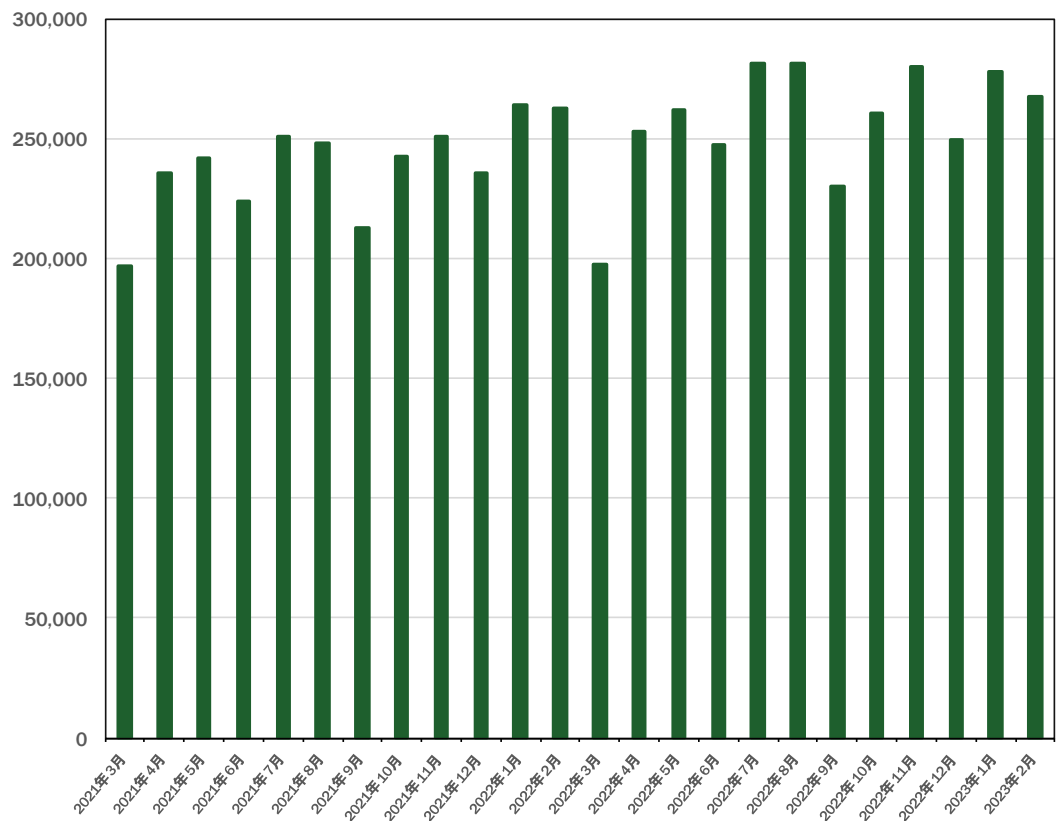
(単位：億円)

| | 発行企業名 | 2月末残高 | 1月末残高 |
|----|-------------------------|--------|--------|
| 1 | NTTファイナンス株式会社 | 15,530 | 15,910 |
| 2 | 三井住友ファイナンス&リース株式会社 | 10,397 | 11,047 |
| 3 | NTT・TCリース株式会社 | 8,410 | 8,300 |
| 4 | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 7,876 | 8,010 |
| 5 | 三菱HCキャピタル株式会社 | 6,343 | 6,241 |
| 6 | みずほリース株式会社 | 5,920 | 5,715 |
| 7 | JFEホールディングス株式会社 | 5,500 | 5,290 |
| 8 | 日本製鉄株式会社 | 5,400 | 4,500 |
| 9 | JA三井リース株式会社 | 5,250 | 5,550 |
| 10 | 株式会社クレディセゾン | 5,060 | 5,520 |

【短期社債市場残高】

(2021年3月～2023年2月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会